

FDK



第76期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

FDK株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

当社は平成16年9月30日をもって、第76期の中間決算を行ないましたので、その概況をご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期の電子部品市場は、アテネオリンピックの開催などを背景として、期初は前年度に引き続き順調に推移いたしました。しかし、期後半にかけては、高成長を続けていたフラットパネルディスプレイ分野などに一部減速感が見られました。

当社におきましては、生産革新運動を全社で強力に推進し、ローコストマニュファクチャリング体制のさらなる強化に取り組みました。

売上高は、プラズマディスプレイ関連製品や電池などが伸長し、前年同期比5.0%増の317億38百万円となりました。損益面につきましては、厳しい価格競争に加え、原材料の値上げによるコストアップ圧力が損益を圧迫しましたものの、コスト削減に努めました結果、営業利益6億74百万円、経常利益3億67百万円、中間純利益1億82百万円を確保いたしました。

中間配当につきましては、当社の財務状況を勘案し、見送らせていただきたいと存じます。

株主の皆様には誠に申し訳なく、衷心よりお詫び申し上げます。

次に事業別の売上概況についてご報告申し上げます。

なお、電子事業の各部門について、事業構造の変革にあわせて一部再編成しており、前年同期の数値に関しましても再編成後に置き換えて比較しております。

■電子事業

●ハイブリッドモジュール部門

プラズマディスプレイ用ハイブリッドモジュールは、プラズマテレビの需要拡大により大幅に伸長いたしました。液晶ディスプレイ用ハイブリッドモジュールは、連結売上高では前年同期を上回っておりますものの、パネルメーカーの海外生産に対応した体制をとりました結果、単体での売上高は減少いたしました。また、携帯電話用のVCO（電圧制御発振器）は、需要の減少により前年同期を下回りました。その結果、当部門全体の売上高は、前年同期並みの124億70百万円となりました。

●パワーシステム部門

スイッチング電源は、ストレージ用およびフラットパネルディスプレイ用が伸長しました。コイルデバイスは、液晶ディスプレイ用インバータトランスが増加し、前年同期を上回りました。なお、当上半期より新製品の積層チップパワーインダクタの量産出荷を開始いたしました。その結果、当部門全体の売上高は、前年同期比38.0%増の54億2百万円となりました。

●モータ部門

当部門は、デジタルカメラ用の小径モータが伸長いたしましたものの、プリンタ用ステップモータはDCモータへの置き換えによる需要減の影響を受け、減少いたしました。その結果、当部門全体の売上高は、前年同期比19.0%減の23億1百万円となりました。

●コンポーネント部門

当部門は、フェライトコアが国内生産終息の影響により前年同期を下回りましたものの、光通信用部品、デジタルカメラ用圧電部品などの売上が増加し、全体では前年同期比6.4%増の40億45百万円となりました。

■電池事業

アルカリ乾電池は、国内市場は厳しい価格競争のなか売上高が前年同期を下回りましたが、北米向け輸出が大幅に増加し、その結果、当事業の売上高は、前年同期比17.6%増の75億20百万円となりました。

今後につきましては、デジタル機器を中心とした市場の拡大という方向は変わらないものの、フラットパネルディスプレイ市場の一時的減速や、原油価格高騰の影響による原材料価格の値上げなど、下半期の事業環境は予断を許さない状況となっております。

このようななか、当社はものづくりを根本から見直し、品質の向上、生産性の向上、コストダウンの推進により確実に利益をあげられる体質をつくりあげるべく、生産

革新運動に全力を傾注してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



代表取締役社長

杉本俊春

財務諸表

●貸借対照表 平成16年9月30日現在

(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	66,182
I 流動資産	39,542
現金・預金	4,553
受取手形	1,019
売掛金	19,545
商品・製品	1,412
仕掛品	804
原材料・貯蔵品	1,552
前払費用	35
未収入金	9,891
その他の流動資産	738
貸倒引当金	△12
II 固定資産	26,640
(有形固定資産)	(13,340)
建物・構築物	6,333
機械装置	2,502
車両運搬具	1
工具器具備品	1,139
土地	3,303
建設仮勘定	60
(無形固定資産)	(489)
借地権等	489
(投資その他の資産)	(12,810)
投資有価証券	75
子会社株式	6,906
子会社出資金	5,184
長期前払費用	154
その他の投資等	578
貸倒引当金	△89
資産合計	66,182

科 目	金 額
負債の部	57,903
I 流動負債	49,494
支払手形	285
買掛金	18,932
短期借入金	27,137
未払金	1,974
未払費用	652
未払法人税等	105
預り金	254
その他の流動負債	151
II 固定負債	8,408
長期借入金	4,036
退職給付引当金	4,349
役員退職給与引当金	13
繰延税金負債	9
資本の部	8,278
I 資本金	19,256
II 資本剰余金	13,635
資本準備金	13,635
III 利益剰余金	△24,608
利益準備金	28
中間未処理損失	24,636
IV 株式等評価差額金	13
V 自己株式	△18
負債及び資本合計	66,182

- (注) 1. 子会社に対する短期金銭債権……………18,334百万円
 2. 子会社に対する短期金銭債務……………6,523百万円
 3. 子会社に対する長期金銭債権……………219百万円
 4. 有形固定資産の減価償却累計額……………25,728百万円
 5. 担保に供している資産
 有形固定資産……………7,887百万円
 保証債務……………3,860百万円

7. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額……………13百万円
 8. 資本の欠損は24,654百万円であります。
 9. 役員退職給与引当金は、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。
 10. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、各種電子計算機器及び営業用車両等の一部については、リース契約により使用しております。

● 損益計算書 平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目		金 額		
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	31,738	31,738
		売上高	31,738	
		営業費用		31,064
		売上原価	27,730	
		販売費及び一般管理費	3,333	
	営業利益		674	
	営業外損益の部	営業外収益		943
		受取利息・配当金	177	
		その他の営業外収益	765	
		営業外費用		1,250
支払利息		241		
その他の営業外費用	1,008			
経常利益			367	
特別損益の部	特別利益		165	
	土地売却益	165		
	特別損失		169	
	損害賠償金	169		
税引前中間純利益			364	
法人税、住民税及び事業税			181	
中間純利益			182	
前期繰越損失			24,818	
中間未処理損失			24,636	

(注) 1. 子会社との間の取引高 営業取引高
 売上高 ……………7,059百万円
 仕入高 ……………13,846百万円
 その他の支出高 ……………387百万円
 営業取引以外の取引高
 収入高 ……………585百万円
 支出高 ……………1百万円

2. 1株当たり中間純利益 ……………1円43銭

会社の概要

平成16年9月30日現在

- 商 号 FDK株式会社
FDK CORPORATION
- 設 立 昭和25年(1950年)2月7日
- 資 本 金 19,256,561,513円

●事業区分別の主要製品

事業区分		主要製品
電 子 モ ー タ	ハイブリッドモジュール	液晶ディスプレイ用ハイブリッドモジュール、プラズマディスプレイ用ハイブリッドモジュール、VCO(電圧制御発振器)
	パワーシステム	スイッチング電源、コイルデバイス、コンバータ
	モーター	OA機器用ステッパモーター、小径モーター、車載用ステッパモーター
	コンポーネント	光通信用部品、トナー、圧電部品
電 池		アルカリ乾電池、マンガン乾電池、リチウム電池、各種強カライト、乾電池製造設備

- 従業員数 1,391名

●役員

■取締役・監査役

代表取締役社長	杉本俊春
取締役	土屋彰
取締役	樽井保夫
取締役	中澤正典
取締役	土川春穂
常勤監査役	白木正志
常勤監査役	大木義次
監査役	石橋鉄之介
監査役	加藤和彦

- (注) 1. 取締役土川春穂氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役白木正志氏および監査役加藤和彦氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

■執行役員

社 長	杉本俊春
執行役員常務 (ものづくり推進本部長兼品質保証本部長)	土屋彰
執行役員常務 (電子営業本部長)	樽井保夫
執行役員 (電池営業本部長)	森村陽一
執行役員 (コーポレート本部長)	中澤正典
執行役員 (パワーシステム事業部長)	鎌田彰
執行役員 (ハイブリッドモジュール事業部長)	鬼塚正
執行役員 (企画戦略室長)	崎浦聡
執行役員 (コンポーネント事業部長兼技術開発統括部長)	陸川弘
執行役員 (購買統括部長)	鈴木能之

株式の概要

平成16年9月30日現在

● 会社が発行する株式の総数 ……………540,000,000株

普通株式 510,000,000株

優先株式 30,000,000株

● 発行済株式総数 ……………138,075,884株

普通株式 128,075,884株

第1回優先株式 10,000,000株

● 株 主 数 普通株式 8,820名

第1回優先株式 1名

● 大 株 主

普通株式

株主名	当社への出資状況 持株数(議決権比率)
	千株 %
富士通株式会社	50,667 (39.79)
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	29,010 (22.78)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,932 (3.87)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,098 (2.43)
富士電機ホールディングス株式会社	3,015 (2.37)
日本証券金融株式会社	1,866 (1.47)
株式会社みずほ銀行	1,615 (1.27)
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	887 (0.70)
ザチエースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	700 (0.55)
エスエルオムニバスアカウント	
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	675 (0.53)

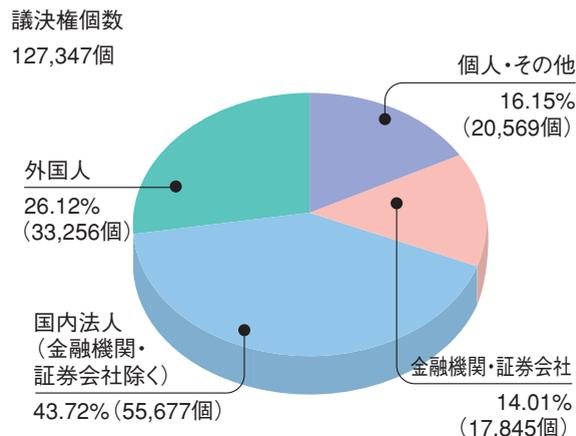
(注) モルガン・スタンレーアンドカンパニーインクの株式のうち17,400千株はオー・シー・エム・エフディーケイ・ホールディングス・フォー・エルエルシーが、11,600千株はオー・シー・エム・エフディーケイ・ホールディングス・フォービー・エルエルシーが実質的に所有しております。

第1回優先株式

株主名	当社への出資状況 持株数(議決権比率)
	千株 %
富士通株式会社	10,000 (—)

● 議決権の所有者別分布状況

※ () 内は、議決権個数です。



● 株価および売買高の推移



連結財務諸表

● 連結貸借対照表 平成16年9月30日現在

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金及び預金	9,575	1. 支払手形及び買掛金	22,193
2. 受取手形及び売掛金	26,186	2. 短期借入金	34,692
3. たな卸資産	9,439	3. 未払法人税等	358
4. その他	3,036	4. その他	3,989
5. 貸倒引当金	△77	流動負債合計	61,234
流動資産合計	48,160	II 固定負債	
II 固定資産		1. 長期借入金	4,941
(1) 有形固定資産		2. 退職給付引当金	4,378
1. 建物及び構築物	9,911	3. 役員退職給付引当金	22
2. 機械装置及び運搬具	9,095	4. その他	62
3. 土地	4,408	固定負債合計	9,405
4. その他	3,037	負債合計	70,639
有形固定資産合計	26,453	(少数株主持分)	
(2) 無形固定資産	960	少数株主持分	1,426
(3) 投資その他の資産		資本の部	
1. 投資有価証券	135	I 資本金	19,256
2. その他	820	II 資本剰余金	13,635
3. 貸倒引当金	△96	III 利益剰余金	△27,020
投資その他の資産合計	859	IV その他有価証券評価差額金	13
固定資産合計	28,272	V 為替換算調整勘定	△1,497
資産合計	76,433	VI 自己株式	△18
		資本合計	4,367
		負債、少数株主持分及び資本合計	76,433

● 連結損益計算書 平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

(単位：百万円)

科目	金額
I 売上高	51,894
II 売上原価	45,102
売上総利益	6,792
III 販売費及び一般管理費	5,339
営業利益	1,452
IV 営業外収益	757
1. 受取利息	10
2. その他	746
V 営業外費用	1,423
1. 支払利息	361
2. その他	1,062
経常利益	786
VI 特別利益	165
土地売却益	165
VII 特別損失	169
損害賠償金	169
税金等調整前当期純利益	782
法人税、住民税及び事業税	451
法人税等調整額	37
少数株主利益	67
当期純利益	226

FDKグループの生産・販売拠点

※生産拠点の [] 内は、主要生産品目です。

国内生産拠点

- ① 湖西工場 [スイッチング電源、高周波積層チップ部品]
- ② いわき工場 [ハイブリッドモジュール]
- ③ 山陽工場 [ハイブリッドモジュール]
- ④ FDKエナジー(株) [アルカリ乾電池、リチウム電池]
- ⑤ (株)FDKエンジニアリング [各種製造設備の設計・製作]
- ⑥ (株)FDKメカトロニクス [ステッパモータ]

国内販売拠点 [営業担当/電子部品: ◆ 電池: ◆]

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① 本社 [◆◆] | ⑥ 福岡営業所 [◆] |
| ② 首都圏営業所 [◆◆] | ⑦ 熊本営業センター [◆] |
| ③ 札幌営業所 [◆◆] | ⑧ 沖縄営業センター [◆] |
| ④ 仙台営業所 [◆◆] | ⑨ FDK販売(株)東京本社 [◆◆] |
| ⑤ 名古屋営業所 [◆◆◆] | ⑩ FDK販売(株)名古屋営業所 [◆◆] |
| ⑥ 大阪営業所 [◆◆◆] | ⑪ FDK販売(株)大阪営業所 [◆◆] |

海外生産拠点

- ① SHANGHAI FDK CORPORATION
中国・上海 [コイルデバイス、ハイブリッドモジュール]
- ② XIAMEN FDK CORPORATION
中国・廈門 [ハイブリッドモジュール、スイッチング電源、ステッパモータ]
- ③ SUZHOU FDK CO., LTD.
中国・蘇州 [ハイブリッドモジュール]
- ④ NANJING JINNING SANHUAN FDK CO., LTD.
中国・南京 [各種フェライトコア]
- ⑤ FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.
台湾・桃園 [ハイブリッドモジュール]
- ⑥ PT FDK INDONESIA
インドネシア・プカシ [アルカリ乾電池、リチウム電池]
- ⑦ FDK (THAILAND) CO., LTD.
タイ・パトウンタニ [ステッパモータ]
- ⑧ FDK TATUNG (THAILAND) CO., LTD.
タイ・チョンブリ [各種フェライトコア]
- ⑨ FDK LANKA (PVT) LTD.
スリランカ・カツナヤケ [光通信部品、ロータリートランス]

海外販売拠点 [営業担当/電子部品: ◆ 電池: ◆]

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| FDK AMERICA, INC. | FDK HONG KONG LTD. |
| ① 米国・サンノゼ [◆◆◆] | ④ 香港 [◆◆◆] |
| ② 米国・サンディエゴ [◆◆] | FDK ELECTRONICS GMBH |
| FDK SINGAPORE PTE. LTD. | ⑤ ドイツ・デュッセルドルフ [◆◆◆] |
| ③ シンガポール [◆◆◆] | FDK ELECTRONICS UK LTD. |
| | ⑥ 英国・リビングストン [◆◆◆] |



トピックス

●超小型で低損失・低PDLを実現した1×32光スプリッタを開発

光スプリッタは、光通信ネットワークにおいて、光信号を電気信号に変換することなく複数の光ファイバに分配・合成する機能を持つデバイスです。

今回開発した1×32光スプリッタ「YW-1132」は、従来の小型32分岐型では困難であった光学特性の向上に取り組み、本製品の核となる多成分ガラス基板において、同基板内に形成される光路の屈折率分布の最適化を図るとともに、新たにスプリッタパターンを設計を行いました。さらに全構成部品の形状を見直すことで32分岐型としては世界最小クラスで、光信号の挿入損失およびPDL（偏光依存損失特性）の大幅な低減を実現いたしました。

この性能向上により、多数のファイバが集まる通信事業者の基地局や大型マンションなど、多分岐且つ高い光学特性が要求される分岐装置や収容装置に設置が可能となります。



●近距離通信用の積層チップバラン（Balun）を開発

近距離通信は、パソコンなど機器と機器との接続に使用されていますが、今後は基地局を経由しない携帯電話どうしのメールアドレスの交換、コンビニや自動販売機での支払いなどに同通信機能の採用が考えられています。当社はこのようなニーズに対応して、近距離通信モジュールにおいて平衡・不平衡回路のインピーダンスマッチングのため必要不可欠な超小型積層チップバランを開発いたしました。本製品は、当社のファインセラミックス材料技術、積層プロセス技術、CAE技術を駆使し、製品本体に使用される低温焼成材料の開発、積層パターンの最適化に取り組み、携帯電話のRF回路に要求される薄さ0.6mmで世界最小サイズと、挿入損失；0.7dBのクラス最高性能を実現いたしました。



●積層チップパワーインダクタ「MIPWシリーズ」を開発
当製品は第三世代携帯電話などの小型機器において電池の長時間使用を可能にするため採用が進むコンバータ回路に使用されるキーデバイスです。

今回の「MIPWシリーズ」は、昨年発表した当社従来製品「MIPシリーズ」をさらに改良し、電流負荷時のインダクタンスの低下抑制を図ったものです。この性能向上により巻き線タイプのインダクタと同等或いはそれ以上の性能を発揮するとともに、積層チップ部品としての特長を活かし、高速実装機による1個当たり0.1秒の実装、1万Gの落下衝撃にも耐え得る強度性能をこの小型・低背サイズで実現いたしました。これにより小型電子機器の電源回路の大幅な小型化が実現可能となります。さら



に、製品本体の「鉛フリー」化を実現するとともに、実装時の「鉛フリーはんだ」使用にも対応可能とするなど環境に配慮した製品設計といたしました。

●富士通 新世代アルカリ乾電池「G PLUS」新発売

今回発売した「G PLUS」は、軽負荷から重負荷までの全領域で優れた放電性能の実現を目指し、新導電材を使用した新開発の配合システムによる正極合剤の最適化、正・負極作用物質の反応効率を向上させる新薄化セパレータの採用により、乾電池の持つ性能を最大限に発揮するワイドレンジ性能と高品質を実現いたしました。本シリーズはデジタル機器からリモコンまで、あらゆる機器の特性にシなやかに対応する世界トップクラスの新世代アルカリ乾電池です。



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名義書換	
1. 名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
2. 同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (証券代行事務センター) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 郵便番号168-0063 電話 (03) 3323-7111 (代表)
3. 同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
4. 基 準 日	毎決算期の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主をもって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、当社は決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (http://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html) に掲載しております。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

FDK

FDK株式会社

東京都港区新橋五丁目36番11号

<http://www.fdk.co.jp/>

